

長年、原爆症などに苦しみながら、被爆の実相を語り伝え、核兵器廃絶を訴え続けた被爆者の意思。平和憲法のもと、核兵器なくせと署名に取り組んできた日本国民の声と運動。それらが国際社会に届き、世界の平和を願う国々や市民とともに国連を動かし、ついに「核兵器禁止条約」が採択されました。

「ふたたび被爆者をつくるな」



核兵器の使用がもたらす壊滅的な人道上の帰結を深く憂慮し、その結果として核兵器が完全に廃絶される必要があり、これがいかなる場合にも核兵器が決して再び使用されないことを保証する唯一の方法であり続けている。

～「核兵器禁止条約」前文より

ヒバクシャと市民が世界を動かした。

交渉会議が始まった3月27日。アメリカは同盟国など20余りの国々とともに会議への抗議を示す委員を国連本会議場の外で行いました。わざわざ会議場まで来て不参加を表明する姿勢は、核保有国とその依存国の集りをあらわにしました。正式に条約が採択された今、国連加盟国としてどう対応するかが問われ、一層追いつめられています。

核兵器禁止条約採択で、追いつめられる核保有国とその同盟国

「この条約の核心は、核兵器を否定し、中満泉国連軍縮担当上級代表は、交渉会議で条約採択に貢献された、国際法として文化化した点」安全保障を核兵器に依存する国にとって警鐘になると指摘します。条約によって「悪の烙印」が押された核兵器。核保有国とその同盟国は、条約に署名しなくとも国際社会において政治的・道義的拘束を受けます。

核兵器禁止条約の核心

2017年7月7日人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約が、国連本部の「交渉会議」で122カ国の圧倒的多数の賛成で採決されました。国連加盟国の6割の賛成です。私たちは核兵器完全廃絶に進む上で、強力な法的規範を手にしたことになりました。

歴史的な条約採択



photo:Kyodo News

条約は50ヵ国が批准して、90日後に発行する。
～「核兵器禁止条約」第15条「発行」(要旨)より

- ヒバクシャ国際署名にサインした自治体首長
- | | | | |
|--------|-------|---------------------|------|
| 岩手県知事 | 長野県知事 | 島根県知事 | 広島市長 |
| 宮城県知事 | 滋賀県知事 | 広島県知事 | 長崎市長 |
| 山形県知事 | 京都府知事 | 香川県知事 | |
| 栃木県知事 | 兵庫県知事 | 長崎県知事 | |
| 埼玉県知事 | 奈良県知事 | | |
| 神奈川県知事 | 鳥取県知事 | など、774自治体首長(8/17現在) | |

国連で核兵器禁止条約採択！
核兵器廃絶へ
世界が踏み出した。

ヒバクシャ国際署名の力

被爆者が「生きている間に何としても核兵器のない世界」の実現を求めて、「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名(ヒバクシャ国際署名)」を提起しました。核兵器禁止条約がより実行力を持ち、核保有国とその同盟国が核兵器廃絶に一步踏み出すためには、圧倒的な国際世論が必要です。2020年までに全世界数億人規模でとりくむ「ヒバクシャ国際署名」は、まさに“核兵器のない世界”に進むための原動力になります。日本でも国民の声を署名に託して、政府に条約を批准させましょう。

全日本民医連は、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくして平和を守ります。

わたしたちは、被爆者に学び、被爆者とともに被爆者医療、原水爆禁止運動をすすめてきました。全日本民医連は、被爆者に寄り添い、被爆者が訴え続けた被爆の実相、核兵器の非人道性を語り継ぎながら、核兵器廃絶をめざして署名にとりくみます。



核兵器禁止条約の実現へ、
あなたも「ヒバクシャ国際署名」を。

ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える
核兵器廃絶国際署名

被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、全ての国に求めます。

～「ヒバクシャ国際署名」より

1945年、広島・長崎で起きたこと。

核兵器使用による被害者(ヒバクシャ)、核実験で影響を受けた人々の受け入れ難い苦痛と損害に留意する。
～「核兵器禁止条約」前文(要旨)より

被爆者が語り、伝える被爆の実相

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原爆は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人々を無差別に殺傷しました。生き延びた人々も、放射線の障害にむしばまれ、心身に傷を負い、その後の人生を狂わされました。

1945年末までの原爆による死亡

広島 約14万人
長崎 約7万人

広島・長崎被爆展示組写真から引用

「広島を思い出すたびに私のまぶたにうかぶのは、4歳だった甥の姿です。見わけもつかぬほど黒焦げになって膨れ上がり、体中が焼けただれてもなお、か細い声で水を求め続けたあの子は、死ぬことでようやく苦しみから解放されたのでした。」
(3月28日国連会議、カナダ在住・広島被爆者：セツコ・サーローさんの発言より)

広島・長崎被爆展示組写真から引用

核兵器廃絶へ——。ヒバクシャは、訴え続けた。

核兵器廃絶という目標達成に向けたヒバクシャの努力を認識する。
～「核兵器禁止条約」前文(要旨)より

核兵器廃絶にむけた運動と歴史

1945.8	広島・長崎に原爆投下
1946.1	第1回国連総会で「原子兵器その他の大量殺りく兵器の廃絶を求める」決議
↓	米ソの核軍拡競争による国際緊張高まる
1950～	「ストックホルムアピール署名」米占領下の日本で645万筆(全世界で5億筆)
1954.3	米国による太平洋ビキニ諸島の水爆実験で日本の漁船が被災、原水爆禁止の署名運動が全国に広がる
1955.8	第1回原水爆禁止世界大会 署名は3,158万3,123筆に
1970.3	核不拡散条約(NPT) 発行
1985～	「核兵器全面禁止・廃絶のために—ヒロシマ・ナガサキからのアピール」署名(6,000万筆超)
2003～	「いま、核兵器の廃絶のために」署名
2005～	「すみやかな核兵器の廃絶のために」署名
2011～	「核兵器全面禁止のアピール」署名
2012.5	NPT再検討会議第1回準備委員会で16カ国が「核軍縮の人的側面」の共同声明
2016.4	「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」
2016.12	第71回国連総会で「核兵器禁止条約」の交渉開始を決議
2017.7	「核兵器禁止条約」採択

核兵器は人類生存への脅威。

核兵器の開発、実験、生産、製造、保有、貯蔵を禁止する。核兵器の使用とその威嚇を禁止する。
～「核兵器禁止条約」第1条「禁止」より

人類が絶滅させられる前に

核兵器が存在する限り、意図的であれ、事故であれ、核爆発が起こるリスクがあります。ひとたび核爆発が起これば、どのような国家でもそれに対応することはできません。しかし、今なお世界にはおよそ15,000発もの核兵器が存在しています。

段階的(ステップ・バイ・ステップ)削減では核兵器はなくなる

【世界の核兵器保有数】

- アメリカ 6,800
- ロシア 7,000
- イギリス 215
- フランス 300
- 中国 270
- イスラエル 80
- インド 110～120
- パキスタン 120～130
- 北朝鮮 ？
- 総計 14,900

アメリカ科学者連盟のウェブサイトより。数字は2017年4月4日現在。統計が合わないのは元データのままだ。

北朝鮮をめぐる問題は、核兵器使用の開発や核の威嚇の禁止がいかに重要かを示します。軍事的挑発はやめて対話を通じた平和的解決を進めるとともに、被爆国日本こそ、東アジアと世界に率先して条約に調印、批准し、核兵器禁止条約の実現を呼びかけていくことが求められます。

核も戦争もない世界へ。“被爆国日本の政府”こそ、その先頭に。

国は、国際連合憲章に従い、その国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使を、いかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも慎まなければならない。
～「核兵器禁止条約」前文より

唯一の戦争による被爆国として恥ずべき態度

2016年12月、国連で113カ国の賛成で採択された核兵器禁止条約交渉会議の開催決議に、日本は「アメリカの「核の傘」に守られる安全保障」政策を理由に、アメリカなどとともに対峙しました。17年3月27日の交渉会議では、日本政府代表の高見沢軍縮大使が禁止条約に反対し、会議への参加拒否を宣言。禁止条約採択後の8月、安倍首相は広島・長崎の式典で核兵器禁止条約に一言もふれず、被爆者と国民の願いに背を向けました。

photo:Kyodo News

憲法9条、平和主義を守ってこそ集团的自衛権の行使容認、安保法制＝戦争法、共謀罪と、戦争する国づくりを推し進めてきた安倍首相は、ついに9条3項を加えて「自衛隊」を明記する「加憲」を宣言。2018年中に改憲発議、国民投票の実施をねらっています。安保法制が施行されたことで、海外で集团的自衛権が行使できる実力組織となった自衛隊が憲法に明記されれば、自衛隊の海外での武力行使の制約はすべて取り除かれます。被爆国日本のはたすべき役割は、憲法9条、平和主義を守って、核も戦争もない平和な世界実現の先頭に立つことです。